# もんじょ紹介 No.33

# 2025「須坂に残る戦時資料」展

-戦後80年語り継ぐ銃後のくらし-



「買物貯蓄しませう」(大蔵省・道府県)



「火の用心」(夜警) (大日本消防協会長野支部)



昭和十五年発行「支那事変国庫債券」五百円(郵便局売出し)

# 須坂市文書館

# 2025「須坂に残る戦時資料」展

# -戦後80年語り継ぐ銃後のくらし-

今年はアジア太平洋戦争の終結から 80 年にあたります。広島・長崎の原爆被害からの 80 年でもあります。さらに、昭和が始まって 100 年にあたります。

80年前の昭和20年(1945)8月15日、日本はポツダム宣言を受諾し連合国に無条件降伏しました(正式の降伏文書調印は9月2日)。

昭和6年9月18日、関東軍は南満洲鉄道沿線柳条湖で爆破事件を自ら演出し、満洲事変へと突入します。以来、足かけ15年にわたり日中戦争、アジア太平洋戦争といわれる長い長い戦争の時代(「15年戦争」とも言われる)がありました。

これにより、今年は「終結」、「終戦」、「敗戦」、「戦後」と表現はいろいろとありますが、全国的にこの 80 年を節目とするさまざまな行事・講演会などが行われています。また、戦前・戦中・戦後の多方面にわたる調査研究が進められており、貴重な資料の発見や重要な証言などが報道されることが増えています。

須坂市文書館では、これまで 4 回にわたって「須坂に残る戦争資料」の展示を行ってきました。 今回は 80 年を経て戦争を語り伝える体験者が少なくなっていく中で、「銃後のくらし」について展 示し、戦後 80 年を考えたいと思います。

#### <展示内容>

- 1 15 年戦争のはじまり
- 2 銃後の暮らし
  - ① 配給と国債・貯蓄
  - ② 勤労奉仕と金属類・補助貨幣の回収(座布団、廃品献納)
  - ③ 防空態勢·消防訓練
- 3 翼賛体制・選挙

資料として牧幸一郎家文書、(一社)日滝史蹟保存会文書、相杜神社文書、神林公明家文書、 『寫眞週報』を中心に、参考資料も合わせて展示します。

会期:2025年7月26日(土)~9月18日(木)

会期中は土・日曜日、祝日も開館(無料)

会場: 須坂市文書館(旧上高井郡役所内) 住所、電話番号は裏表紙に記載

時間:午前9時~午後5時

### 1 15 年戦争の始まり

日露戦争以来、南満洲鉄道を拠点に満洲に対する独占的支配に乗り出した日本は、「満洲は日本の生命線」と強調し、政治的・経済的進出を図っていた。昭和6年(1931)9月18日、関東軍が奉天郊外の柳条湖で満洲鉄道を爆破し、それを中国軍の行為であるとデッチあげると、すぐさま軍事行動を起こした(満洲事変)。翌7年3月には傀儡国家「満洲国」をつくりあげた。その後、軍部の予想に反して戦局は悪化の一途をたどり、同20年8月15日の敗戦まで日中



慶祝満洲国建国十周年(昭和17年)



『寫眞週報』第122号

功成共防外不共剿黨滅平和遠流是即土樂道王

「滅党剿(掃)共不外防共成功 王道楽土即是永遠和平」(冀東防共自治政府) 〇昭和 10 年 12 月 25 日、殷汝耕が河北省通州に設立 した親日自治政府。





満洲国康徳帝溥儀

度

目の

来日

満洲国建国拾周年切手

# シンガポール陥落(昭和17年2月15日)



祝シンガポール陥落(朝日新聞社)



シンガポール陥落祝賀会(昭和 17 年 2 月 18 日) <町営グラウンド>



『寫眞週報』第206号 シンガポール附近詳図



大東亜戦争記念葉書 宮本三郎画





記念切手



小磯良平画

## 2 銃後のくらし

#### ① 配給と国債・貯蓄

支那事変国債は、昭和 12 年 7 月 7 日の盧溝橋事件・日中戦争勃発直後の 11 月には初起債となる。アジア太平洋戦争に突入すると、そのまま大東亜戦争国庫債券(第 1 回売出しは同 17 年 2 月)へと引き継がれる。同時期に貯蓄運動が開始され、120 億円(ひとり当たり 120 円)の貯蓄が強制された。アジア太平洋戦争直前の同 16 年 11 月には 170 億円へと増額され、さらに翌年には 230 億円にまで増額された。



「国債の力で築け東亜」
支那事変国債(大蔵省)

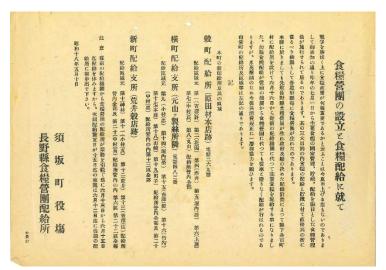


「買物貯蓄しませう」 (大蔵省・道府県)



「貯蓄達成運動、百二十憶」 (大蔵省・道府県)

### <食糧配給>



ア 食糧営団の設立と食糧配給について

昭和 18 年 5 月「食糧管理法」に基づき 3 配給所(穀町、横町、新町)に区域を編成する。米穀通帳制は同 16 年 4 月 1 日から実施されていた。



イ 諸配給原簿 米の配給基準量

	25.	214	6	174	AL.	1	er	Mt	
墓庙州之田今	罗蓝在给	辣配给	文作明古王 市	私知見用在院	9	4	4	特配經過一方	取的大丁四正孝靴存死
在市对三七四合 屋接死许八六方	古中古神	百日十三十五十五十五十五十五十五十五十五十五十五十五十五十五十五十五十五十五十五十		京本 事に 事	在	41	1	一人一生之花	李就存在一种
in H	1				12	*	(1	1本	
かつかれ	一般多庭於路	直務紀然 降版	中把漢三年	安心之之初 年明を古	こん 四秋	十年 二次	十四表 一五权	おおれれれる五和	
	浦畔茂人	1	ナニケ	今井かつ	山水建三郎	被臨義網	當口時安部	今井师师	

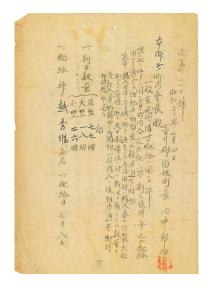
1~2歳 120g 3~5歳 170g

6~10 歳 250g

11~15 歳 360g

16~60歳 320 (400) g

61 歳以上 300g



ウ マッチの配給



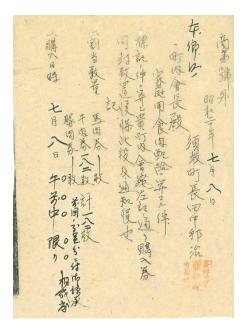
エ 豆腐の配給



オ 家庭用味噌原料の配給



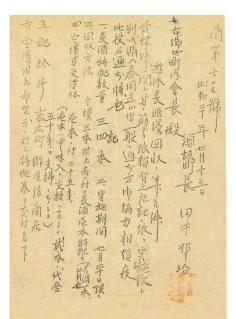
力 木炭配給綴(相杜神社)



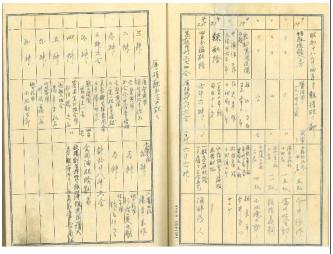
キ 食肉の配給



ク 石けんの配給



ケ 麦酒瓶の回収・配給

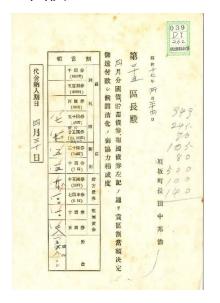


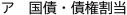
計配給原簿(相杜神社)

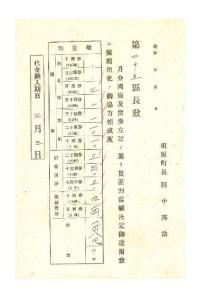
#### 昭和20年配給品

- ・金物 ・ちくわ
- ・下駄 ・マッチ
- ・食肉・佃煮
- ・ごぼう・煙草
- ・軍手・豆腐
- ・石鹸・昆布
- ・木炭・敷布
- ・練炭・大根
- ・蚊帳・食酢
- ・りんご ・納豆
- 770C M33Z
- ・ゴム靴等修理券
- ・薪
- ・野菜

#### <国債>







イ 国債・債権割当



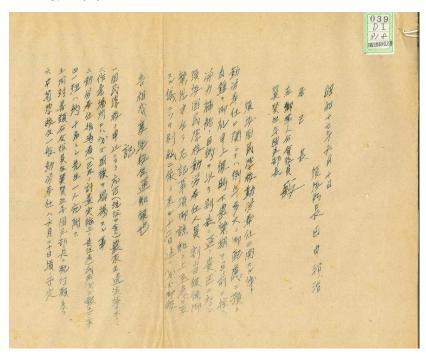
ウ割当国債買受者名簿

#### ② 勤労奉仕と金属類・補助貨幣の回収

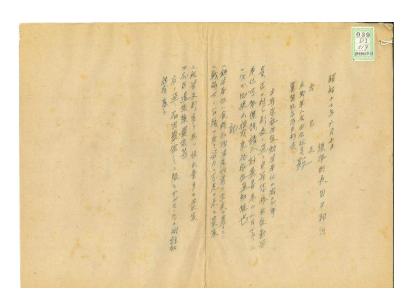
須坂町の勤労奉仕では昭和 17 年 6 月須坂国民学校から 1 日 100 人(1 班=10 人と先生 1 人ずつ)が 8 日間、延 800 人が動員され、また中等学校では、女学校・商業学校生徒が 1 日各 50 人ずつ 5 日間、延 500 人が動員されている。いずれも地区割り(10~30 人)がなされ、応召農家及び遺家族農家の手伝いに動員されている。

須坂町では独自に「支那事変勃発一周年」ということで、昭和13年7月に初の廃品献納(金属回収)が始まる。須坂町報によれば「各戸洩れなく参加を乞ふ」と半ば強制的に献納が行われた。各区が競い合った結果、鉄=1641.1貫(約6145kg)、アルミニウム=14.8貫(約55.5kg)、銅=4.4貫(約16.5kg)などとなっている。これら売上金額合計は340円78銭とある。

### <勤労奉仕>



ア 国民学校勤労奉仕



イ 中学校勤労奉仕

ウ 臥龍山勤奉隊

#### <金属類・座布団の回収>



ア 特別回収買上伝票(鉄・銅)



イ 座布団回収協議会



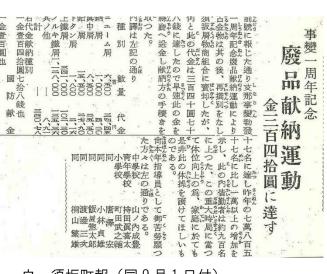
ウ 梵鐘供出 『寫眞週報』第151号



『寫眞週報』第188号



全国的には昭和 14 年 5 月 1 日からの 「金買い上げ運動、鉄製品回収運動」が始 まりである。また、「金属回収令」が公布 されるのは同16年8月30日である。



須坂町報(同9月1日付)

が深く認識されて 言宝 合計電區ン 計 鐵計六 去る七月七日支那事 證言 K 别 當り り町當局が町民各位に町でなる。 九 た。 鐵 100、至00 图11、1100 声,100 五、三000年、三000年、三000年、三000年、三000年 三九、五00 一00、た00 会 会 之 次 高 の 中三、HCO OH BOC 資源愛護の精神(高) 一般の時月/ 一般の時月/ 資源 7 變元 一一八八〇 各で勃位を發 六哥 三、四八000 六、一公 通貨のである。 K 本に変える。 四、三宝 受入品 る。 10 協 力さ 目 別數量は 對しては勿論 た軍人 其實 左

金壹百圓也 金壹百圓

恤

兵

#### 勤労奉仕、供出・金属回収、防空態勢等

man of I late #	Notice and the part of the par	=>4:>(11 14 = 1)
年月日	須坂町からの通知項目	資料展示
13. 7. 1	事変一周年記念廃品献納運動	「町報」展示
16. 7.15	防諜上ニ関スル件	
12.12	金属特別回収	「買上伝票」展示
17. 6.10		展示
同	中等学校生徒勤労奉仕ニ関スル件	展示
18. 10. 30	甘藷の貯蔵と加工に関する件	
12. 1	米穀供出割当ニ関スル件	
12. 8	軍用飛行機献納運動ニ関スル件	
19. 1.	タラワ・マキン両島玉砕部隊復仇航空機献納運動ニ関スル件	
6. 9	戦時農産物総合生産非常措置要項ニ関スル件	
同	共同作業並勤労奉仕受入ニ就テ	
同	田植労力畜力調整要綱	
6. 30	空閑地利用大豆作付ニ関スル件	
11. 7	白金供出申告並銀供出ニ関スル調査依頼ノ件	
11. 14	座布団回収協議会開催通知ノ件	展示(綿火薬用)
12.	須坂町松根油緊急増産実施要項	
20. 1. 26	アルミ貨の回収等常会資料	展示(補助貨幣)
2. 8	大東亜戦争必勝祈誓貯蓄ニ関スル件	
2. 9	紀元節国民奉祝二関スル件	
2. 15	犬毛皮確保並狂犬病根絶ニ関スル件	展示
3. 2	警戒警報伝達信号再吹鳴ニ関スル件	
3. 13	金属製品家庭等整理回収ニ関スル件	
3. 14	須坂町戦時災害応急救助計画要項	
同	金属製品家庭等回収変更ニ関スル件	
同	帝都空襲ニョル罹災者応急救助対策打合会	
3, 18	臥龍山洞窟工事勤奉隊動員ニ関スル件	展示
3, 22	東京都戦災罹災者集団受入ニ関スル件	
4. 6	綜合防空訓練実施ニ関スル件	展示
5. 29	防空壕及偽装ニ関スル件	展示
同	防空施設候補地選定方依頼之件	展示(簡易水槽)
5, 30	昭和二十年度農繁期国民保育園開設ニ関スル件	ai .
6. 7	国民勤労報国隊選出協力ニ関シ依頼ノ件	
6. 11	罹災集団疎開学童救護ニ関スル件	*
7. 8	大東亜戦争必勝祈誓貯蓄実績表	
8. 1	防空態勢ノ強化ニ関スル件	展示
8. 4	皇土防衛必勝敢闘懇談会開催ノ件	
8. 8	出征遺家族中元慰問ニ関スル件	
10. 8	武器引渡命令履行ニ関スル件	
10. 10	連合軍進駐ニ伴フ労務確保ノ準備措置ニ関スル件	(聯合国軍進駐)
10, 18	酒類ノ密造防止ニ関スル件	
10, 22	武器提出方ニ関スル件	

#### <補助貨幣の回収>

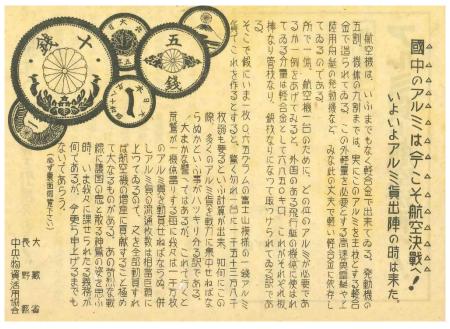


ア 隣組緊急回報「アルミ貨全面引換実践週間」

「アルミ貨はそのまま航空機の翼となり、発動機となり獣敵撃滅の新鋭機となります」とあるが、はたしてどのくらいのアルミ貨が回収できたのであろうか?

計算では富士山模様の1銭アルミ貨で航空機1機を生産するとなると、約1,050万枚(重量にして約6.85t)が必要。





イ 「アルミ貨を航空決戦へ!」(大蔵省、長野県、中央物資活用協会)



ウ 「補助貨を御国に御返ししませう」 (国民学校)

国民学校の子どもたちにも補助 貨幣の供出が強制された。ニッケル 貨・白銅貨・銅貨・銀貨をはじめと して寛永通宝や文久永宝など江戸 期や明治期の貨幣も対象とされた。



ア 『寫眞週報』 第300号 「生活を切りかへて戦力を生まう」



イ 『寫眞週報』 第 278 号 「一反の着物(綿スワ)を作らなければ」

# ③ 防空態勢・消防訓練

昭和15年10月1日から行われた第三次防空訓練では「警防団、自警団、防火群等町民全般は訓練に参加し、真に我が町我が家の危険切迫し、又は空襲を受けつつあるものとして訓練を実施していただきたい」とある。これもまた強制参加である。



火の用心 (夜警)



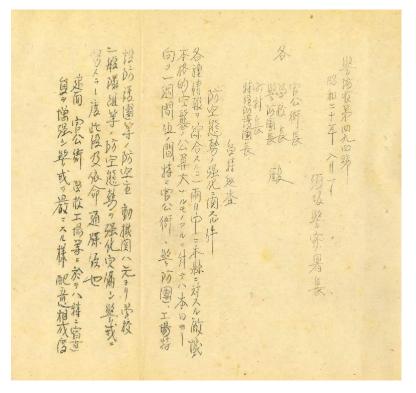
火の用心(半鐘)



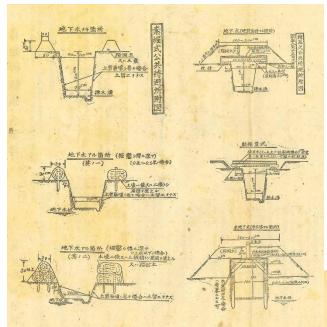
火の用心(提灯)



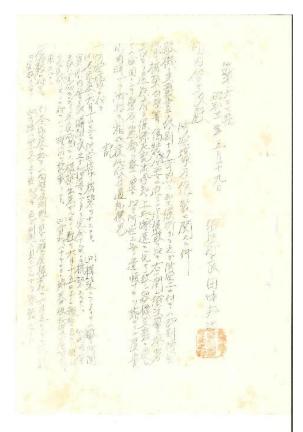
油断大敵



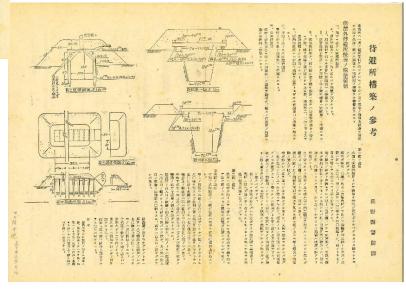
ア 防空態勢の強化



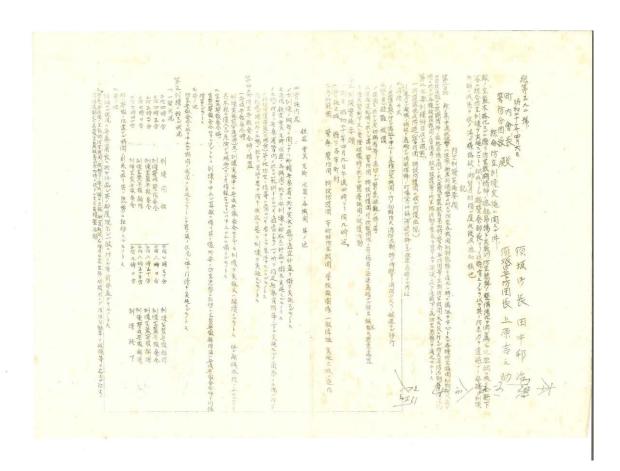
ウ 公共待避所構築



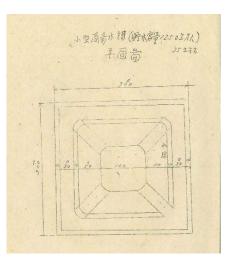
イ 防空壕及び偽装

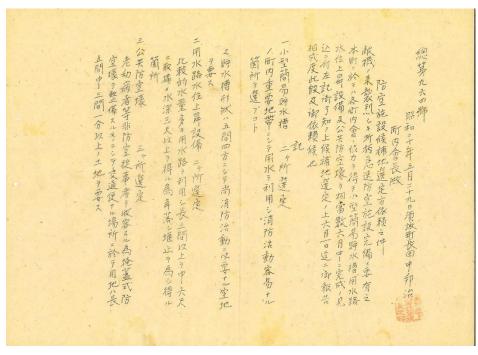


I 待避所構築の参考



#### 才 綜合防空訓練実施要項

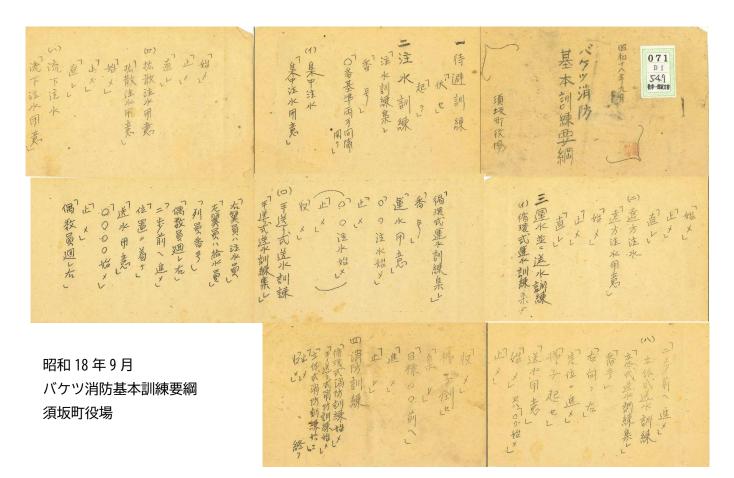




力 防空施設候補地選定(小型簡易貯水槽)

○防空壕の構築:各家庭は六月十日までに防空壕の構築をすること。(5月24日付)

○建物の偽装:各家庭においては、白壁及び判然と見える壁屋根その他を六月五日までに偽装を完成すること。 方法は黒又はこれに準ずべき色、判然と見えざるよう塗装すること。









消火訓練 『寫眞週報』第305号

# 3 翼賛体制・選挙

昭和17年4月30日実施の第21回衆議院議員選挙。大政翼賛会・帝国軍人会・言論会等に代表者からなる翼賛政治体制協議会と道府県支部が結成され、これらによる候補者推薦制がとられた。推薦を受けた467名のうち381名が当選。非推薦の当選者は85名であった。この非推薦者のなかには安倍晋三元首相の祖父安倍寛がいる。選挙後は非推薦当選者も含めた翼賛政治会が結成され、東条独裁体制となった。



「選挙粛正」(靖国神社)



「会員の選挙正清」



「選挙粛正」(楠木正成像)



国民精神総動員 第 区協議会





	年	月	日	統制関連法令等
昭和	和12年	F7 F	17日	日中戦争開始
		9	10	戦時統制法公布
	13	2	10	綿業統制実施
		4	1	国家総動員法公布
		4	6	電力管理法公布
		5	1	ガソリン・重油配給切符制実施
		6	20	鉄鋼配給制規則公布
		7	9	物品販売価格取締規則実施
				年末大売出し自粛・年賀状廃止
	1.1	11	11	
	14	4	12	米穀配給統制法公布(10月1日施行)
		5	1	金買い上げ運動、鉄製品回収実施
		11	6	米穀配給統制応急措置令(強制供出令)公布(翌日施行)
		12	1	白米禁止令 (米穀搗精等制限令) 施行
		12	20	総動員物資使用収用令施行
		12	26	暴利行為等取締規則施行
	15	4	12	石炭配給統制法施行
		4	22	米・味噌・醬油・砂糖・卵・マッチ・木炭等の切符制決定
		6	15	麦類配給統制規則施行
		7	7	奢侈品等製造販売制限規則(7・7ストップ令)施行
		7	10	青果物配給統制実施
		8	1	長野県下市部米穀配給通帳制実施
		9	9	金強制買い上げ決定
		9	10	臨時米穀配給統制実施
		11	1	米穀管理規則施行、砂糖配給統制実施
		11	12	電力消費規制実施
	16	1	11	新聞紙等掲載制限令公布·施行
		3	3	国家総動員法改正統制罰則強化
		3	10	治安維持法改正適用拡大強化
		4	1	鮮魚介配給統制実施、米穀配給通帳制実施、生活必需物資
				統制令公布
		4	28	食用油に準切符制採用
		6	10	菓子配給統制令要綱制定(7月から配給統制)
		7	15	暴利行為取締規則改正強化
		8	30	金属回収令施行
		12	8	太平洋戦争開始
		12	16	物資統制令施行
			-	TO THE STATE OF THE PROPERTY O
	17	12	19	言論・出版・集会・結社臨時取締法公布(12月21日施行)
	17	1	1	食塩配給制実施
		1	20	繊維製品配給消費統制規則公布
		2	1	衣料切符制実施・味噌醬油配給統制実施
		2	21	食糧管理法公布 (7月1日施行)
昭和	117年	F4 F	月18日	金融統制団体令公布
		5	1	長野県内新聞『信濃毎日新聞』1紙に統一
		5	20	水産統制令施行
		6	26	生活必需物資総動員計画決定
		10	1	電力消費制限実施
	18	1	16	電力電灯消費制限強化
	10	1	17	たばこ平均60%値上げ
		3	1	物品税・入場税・遊興飲食税等増税実施
		3		
			12	石油專売法公布
		6	4	第1次食糧増産応急対策要綱制定
	9.00	12	21	都市疎開実施要綱制定
	19	3	6	新聞夕刊廃止
		4	1	衣料切符点数切り下げ実施
		6	9	自動車統制規則制定
		8	1	家庭用砂糖配給停止
		10	25	5 銭・10銭新紙幣発行
	20		10	国民動員令公布
	20	3	10 11	国民動員令公布 主食1割減配(アトとり2合1勺) 実施
	20		10 11 15	国民動員令公布 主食1割減配(ひとり2合1勺)実施 敗戦





#### もんじょ紹介 No.33 ===========

発行 2025(令和7)年7月 須坂市文書館 須坂市大字須坂812番地2 (旧上高井郡役所内)

 $TEL \quad 026-285-9041$ 

FAX 026-285-9175